

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クレール光が丘Ⅱ	階数	地上8F
建設地	広島県広島市東区光が丘11-10、1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	70 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年1月15日
敷地面積	1,027 m ²	作成者	尾原 忠良
建築面積	348 m ²	確認日	
延床面積	2,177 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE 1.1</p> <p>★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B:★★ C</p>	<p>★☆☆☆☆:100%超 ☆☆☆:100% ☆☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>0 469213882307822681468065298469737 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.8</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.2		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.4</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 窓にペアガラス採用。/ 既存井戸を使用。/ LED等の採用による消費電力の低減 / / 仕上材は躯体と容易に分別できる工法とした /</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 2.7</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 既存の植栽を残す計画とした。 /</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 2.9</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 構造をRC造とした。 /</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される